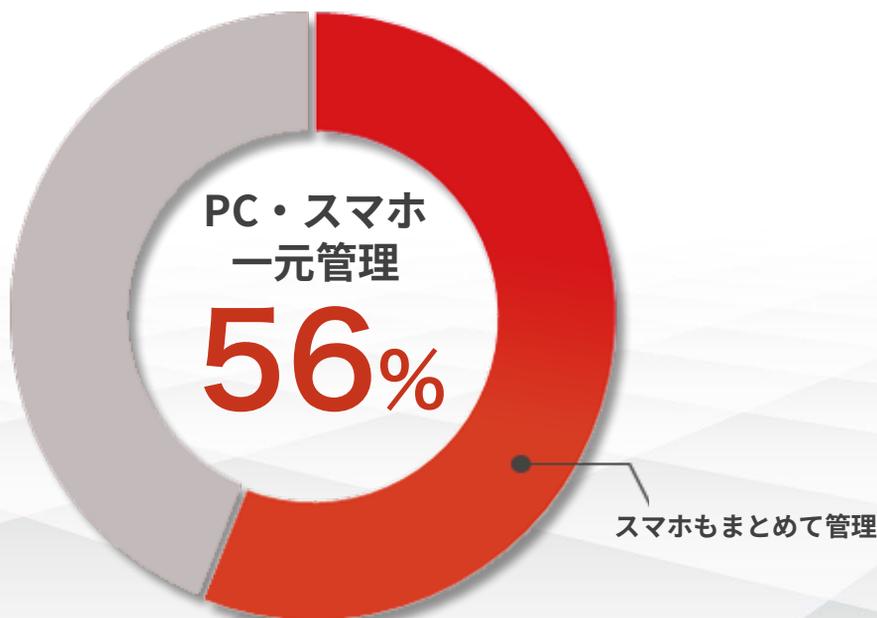


LANSCOPE エンドポイントマネージャー クラウド版で PC・スマホをまとめて管理しませんか？

“クラウド版”の PC 管理ユーザーの
半数以上がスマホも管理しています



※LANSCOPE エンドポイントマネージャークラウド版で PC 管理を行っているユーザーのスマホ管理状況（エムオーテックス調べ／2023年11月時点）

しかし、スマホもまとめて管理するには導入の課題が

利用中のスマホを社員から回収して
管理ツール入れるのは大変

初期化が必要な場合
タイミングが難しい

OS ごとに導入手順が
異なる



機種変更の時期がバラバラ
同じ時期に導入ができない



2024/12まで

2025/12まで

今すぐ一元管理するのは難しい。。。どう進めれば？

今抱えているお悩みについて エムオーテックスのサポート担当にお気軽にご相談ください



PC・スマホ管理の無料相談会実施中

QRコードからお申し込みいただけます



無料相談会ではこのような疑問を解決できます



社員が利用中であつたり、すでに別の MDM ツールが入っているスマホに導入するには？

ご利用中のスマホを無理して回収せず、負担のない導入方法をご案内します

機種変更時



2024/12まで



2026/12まで

新規購入時



スマホ返却時



利用しているスマホが iOS / Android とバラバラだが導入方法の違いは？

OS 別に気を付けるべき注意点を説明しながら導入方法をご案内します



- Apple Business Manager の利用申請をする
Apple が提供する Apple Business Manager (以下、ABM) は、デバイスを効率的に LANSCOPE エンドポイントマネージャークラウド版で管理し、アプリの配布やデバイス内の情報保護などをサポートするクラウドサービスです。ABM を導入し利用申請することによって無料で利用できます。詳細は「[ABM の利用申請](#)」をご覧ください。
- デバイス管理に必要な LANSCOPE クライアントを確認する
iOS デバイスを管理するときに利用するプログラムを「LANSCOPE クライアント」と呼びます。iOS デバイスを管理する場合には必要に LANSCOPE クライアントを確認します。詳細は「[インストールと更新](#)」をご覧ください。
- MDM 証明書を登録する
iOS デバイスの管理に必要な MDM 証明書を手動でエンドポイントマネージャーに登録します。詳細は「[MDM 証明書の登録](#)」をご覧ください。



- Android Enterprise の利用申請をする
Android Enterprise を利用するためには、申請が必要です。詳細は「[Android Enterprise の利用申請](#)」をご覧ください。
- グループを設定する
グループを設定すると、グループごとにポリシーを管理できます。グループはグループまで作成できます。詳細は「[グループを設定](#)」をご覧ください。
- ポリシーを作成する
詳細は「[ポリシーを作成](#)」をご覧ください。



PC・スマホを一元管理をするメリットとは？

資産台帳の一本化



サポート窓口の統一



発注窓口の統一
更新手続きの効率化



エムオーテックス株式会社

【大阪】〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-12-12 エムオーテックス新大阪ビル
【東京】〒108-0073 東京都港区三田3-5-19 東京三田ガーデンタワー22階
【名古屋】〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11 名古屋インターシティ3F
【九州】〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-15-20 NMF博多駅前ビル2F
TEL：06-6308-8980(大阪・九州) 03-3455-1811(東京) 052-253-7346(名古屋)

無料相談会のお申し込みはこちらから



<https://tryweb2.motex.co.jp/public/emc/consolidate/>